

WHO ファクトシート

B 型肝炎

Hepatitis B

2018 年 7 月 18 日

重要な事実

- ・B 型肝炎は、肝臓を攻撃し、急性及び慢性の両方の疾患を引き起こすウイルス性感染症である。
- ・ウイルスは、感染者の血液やその他の体液との接触により感染する。
- ・推計 2 億 5700 万人が B 型肝炎ウイルスに感染している。(B 型肝炎表面抗原の陽性反応があることで定義)感染している。
- ・2015 年に、B 型肝炎では 887,000 人が主として合併症(肝硬変や肝細胞がんなど)によって死亡している。
- ・B 型肝炎は、医療従事者にとって重大な職業上の危険である。
- ・しかしながら、現在用いられている安全で有効なワクチンにより予防が可能である。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Hepatitis B ファクトシート原文は [こちら](#)